

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	商業の活性化	担当部署名	市民生活部地域活性化課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	中心市街地活性化対策事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	1071	1	
財務会計上の事業名	中心市街地活性化推進事業	財務会計上の短縮番号	4405		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	いけだサンシー株式会社、商業の活性化に関わる者、学生
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	旧中心市街地活性化法に基づき作成された基本計画、TMO構想等の中で中心市街地活性化に寄与する事業を推進するために、本まちづくり会社である「いけだサンシー株式会社」等を支援する。また、平成21年度より石橋・池田両地区の学生による商店街空き店舗活用事業を補助する。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	地域経済及び社会の発展に重要となる中心市街地及び商店街の活性化を支援することで、都市機能の増進及び経済活力の向上を一体的に推進し、生活の向上及び経済の発展を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成21年度 <input type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	平成21年度より石橋・池田両地区の学生による商店街空き店舗活用事業補助を開始
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	池田市中心市街地推進事業補助金交付要綱

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	8,426		5,426		5,226		7,726		96.3%	
人件費(人・千円)	0.30	2,400	0.30	2,340	0.31	2,418	0.31	2,418	103.3%	
事業 内 訳	正職員	0.30	2,400	0.30	2,340	0.31	2,418	0.31	2,418	103.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	10,826		7,766		7,644		10,144		98.4%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	10,826		7,766		7,644		10,144		98.4%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	事業支援	回	5	3	3	4	4
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	池田ブランド構築事業の中心となる参加店が増加し、イベントへの参加者数も持続している。学生の空き店舗活用事業も順調にすすめられている
(参考) 今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	中心市街地活性化に寄与する事業を行うものに対して、池田市から補助を行う事業であり、アウトソーシングになじまない。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
新たな試みとして、落語パルを実施し、各個店への収益にもつながったようであるが、実施にあたっての反省点などを踏まえ、恒常的な収益と回遊性を検討し実施していく必要がある。学生の空き店舗活用事業については、それぞれの地域においての一定の成果と知名度もあり、イベントなども地域と密着した活動を行っているが、学生の独自性を生かした活動に期待し継続していく。	池田ブランド構築事業については、猪-1グランプリやセミナー形式のイベントなど、積極展開中。会員間の参加意欲向上や、収益源の確保等が課題である。学生の空き店舗活用事業については、地域をまきこんだ積極的な活動により活性化の一助となっており、今後も事業を継続していく。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	商業の活性化	担当部署名	市民生活部地域活性課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	本町通等活性化事業資金融資事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	1073	1	4
財務会計上の事業名	本町通等活性化事業資金融資事業	財務会計上の短縮番号	4443		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()				
事業の対象 【誰(何)を】	指定地域に新規出店する事業者				
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	対象者に対して新規出店に必要な事業資金の融資を斡旋する。				
事業の目的 【どのような結果を得るか】	融資斡旋により新規出店を支援し、促進させるとともに地域の発展と振興を推進し、まちの活性化に寄与する。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成18年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項 までを記入	池田市本町通等活性化事業資金貸付規則				

2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	0		0		0		240		-
人件費(人・千円)	0.10	800	0.03	234	0.06	468	0.06	468	200.0%	
事業 内 訳	正職員	0.10	800	0.03	234	0.06	468	0.06	468	200.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	800		234		468		708		200.0%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	800	234	468	708	200.0%				
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	融資貸付件数	件	0	0	0	1	1
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止				
選択の理由	貸付限度額が3,000万円と高額であり、指定地域に新規出店する事業者にとって有効な支援策であるといえる。				

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能				
選択の理由	池田市と金融機関との間の損失補償契約に基づく融資制度のため、アウトソーシングになじまない。				

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
損失補償の抱えるリスクと、他の融資制度のメリットとのバランスを踏まえ、制度自体の改正・改廃についても先を見越した議論をするべき段階に来ていると認識しているが、現在の貸付償還状況を鑑み、検討をしていく必要がある。	損失補償の抱えるリスクと、他の融資制度のメリットとのバランスを踏まえ、制度自体の改正・改廃についても先を見越した議論をするべき段階に来ていると認識。